



令和3年度 カコキタ学力向上研究事業 《年度末報告》

令和3年度から3年間、加古川北高校は、県の「学力向上研究事業」の指定を受けました(県下15校)。「進学型普通科単位制」の特色を生かし、本校をさらに「学びの魅力がある学校」とするため、次のようなテーマ・取組を通して学力向上を目指しています。

1～3学期取組内容(スモールステップ)および1年間の取組に対する生徒の評価等をお知らせします。

取組テーマ **主体的な学び:「見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付くプログラム」**

取組内容 ① 最終的到達目標と各時期のスモールステップを設定・提示 ② ①の実現に向けた、ICT活用等による指導手法・表現手法の研究
③ 生徒による自己評価を交えた取組の振り返り ※ 適宜、研究授業や関係機関との連携(大学教授による講義・助言等)を行う。

各教科等の目標、各学期のスモールステップおよびそれに対する生徒の評価(アンケート結果)等

	実施科目	目 標	1学期スモールステップ ← 生徒の評価等	2学期スモールステップ ← 生徒の評価等	3学期スモールステップ ← 生徒の評価等	生徒の評価(年間)
国語科	2年次 現代文B 古典B	ことばに対する自覚的な態度を身に付ける	・教員と生徒が国語の学びにおいて目指すものを共有した上で、思考・表現の型を身に付ける 肯定的評価： 89.5%	・自己の表現を推敲したり、相互に批評したりすることにより、他者と関わり、自らの考えを深めようとする態度を身に付ける 肯定的評価： 89.3%	・多様なテキストに触れることにより新たなことばを獲得し、自らの生きる世界を広げようとする態度を身に付ける 肯定的評価： 77.7%	肯定的評価： 89.3%
地理 歴史科	2年次 世界史B	資料読解力を身に付ける	・文献史料の読解力を身に付ける 肯定的評価： 81.0%	・文献史料の読解力を身に付ける 肯定的評価： 83.7%	・文献史料の読解力を身に付ける 肯定的評価： 86.4%	肯定的評価： 86.4%
	2年次 日本史講座		・地図・写真資料の読解力を身に付ける 肯定的評価： 83.7%	・地図・写真資料の読解力を身に付ける 肯定的評価： 94.5%	・数値・グラフの読解力を身に付ける 肯定的評価： 86.4%	肯定的評価： 88.2%
数学科	1年次 数学I	多角的な解法を身に付ける	・複数の解法に取り組み、その解法を理解する。 肯定的評価： 81.4%	・複数の解法に取り組み、その解法を理解し、それらの解法を利用できる。 肯定的評価： 61.4%	・複数の解法について理解し、利用できるようになることで、単元についての理解を深める。 肯定的評価： 91.3%	肯定的評価： 63.6%
理 科	2年次 理系生物I	分野融合問題、実験観察問題を解く力を身に付ける	・ICTを活用し、動画、写真、図を示し、生命現象や実験を広い視野でイメージできる力を身に付ける 肯定的評価： 88.9%	・問題演習を行い、グラフや表のデータの読解力を身に付ける 肯定的評価： 86.1% 定期考査実験観察問題 正答率：中間考査44% 期末考査83%	・複数の分野にまたがった融合問題に触れ、考察力を身に付ける ・実験上の注意点、考察の仕方について学び、分析力を身に付ける 肯定的評価： 88.9% 定期考査実験観察問題 正答率：78%	肯定的評価： 100%
英語科	1年次 コミュニケーション 英語I・ 英語表現I	自分の考えを英語でまとめ発表する力を身に付ける	・まとまった英文を書くために必要な基本的な文法力を身に付ける 肯定的評価： 94.3%	・与えられた課題について、既習の文法事項や辞書を使いながら、自分の考えを英語で表現する(書く)力を身に付ける 肯定的評価： 64.9%	・自分の考えを自らまとめ、発表する力を身に付ける 肯定的評価： 98.0%	肯定的評価： 98.0%
総合的な探求の時間	1年次	目的に応じた表現力を身に付ける	・「進路研究」を通じて、自分が社会にどのように関わっていくか考え、「2分間スピーチ」で、自分の主張を相手に伝える表現力を身に付ける 「2分間スピーチ」の教師による評価平均： 8.0/12点満点	・「ビブリオバトル」「学校改革選挙」を通じて、相手の心に訴えるような表現力を身に付ける ビブリオバトル 肯定的評価： 96.5% 学校改革案選挙 肯定的評価： 69.7%	・「探究課題」に取り組み、情報を収集・調査・分析してまとめることで、論理的かつ客観的な表現力を身に付ける 肯定的評価： 93.1%	「探究の発表」の教師による評価平均： 7.4/12点満点
教科横断的な授業	2年次 日本史講座	他教科の学習を活用して理解を深める	・国語(古典)を活用した古代の社会・文化の理解 肯定的評価： 82.6%	・数学(集合)を活用した中世社会の理解 肯定的評価： 78.2%	・化学(反応・浸透圧)を活用した鉱山経営の理解 肯定的評価： 83.3%	肯定的評価： 88.9%

時期・科目により差はありますが、年間を通して取組に対する生徒の評価は高く、設定した学力の目標を達成した科目もありました。目標や取組内容の妥当性だけでなく、「これを目標にこれをやるよ」と生徒に明示したことも、生徒の学習への取組や研究事業への評価に良い影響を及ぼしたと思われます。

この結果を検討材料に、各教科等で次年度の目標設定や取組内容を設定していきます。